

主計町茶屋街

主計町茶屋街は、金沢の伝統的な歓楽街であるお茶屋街の一つだ。お茶屋では、芸妓（地元での芸者の呼び方）が、得意客を音楽と踊り、遊びで楽しませる。このお茶屋街は、明治（1868-1912）初期に設置された。主計町の木造の建物や桜の木、そして川沿いという立地が、魅力的な雰囲気を作り出している。

主計茶屋街は、伝統的な建物が狭い通りに立ち並んでいる。この界隈の多くの商売は、得意客の紹介制による芸妓茶屋であるが、川の土手沿いの道にはレストランやカフェがいくつかあり、誰でも入店できる。「暗がり坂」の階段の上には小さな神社がある。暗がり坂は、かつて裕福な商人が人目を忍んで、夜に芸妓を訪れる際にも使われていた。